

四谷大塚	4年		
	算数		
学習内容	6月の学習内容 14回『等差数列』 15回 総合（予習シリーズ4年Ⓔ 第11回～第14回） 16回『約数』 17回『倍数』		
家庭学習ポイント	新しい四谷大塚のカリキュラムでは、4年生のうちに図形の多くの単元や、整数で処理できる単元をこなし、比や速さといった単元を集中的に学習するものになっています、4年生の6月は等差数列～総合を経て約数、倍数へと進みます。（その後夏期講習では、今まで1回しか学習機会がなかった小数、分数や概数などを集中的に学習します。14回の等差数列では、「□ばんめの数の求め方」「□番目の数までの合計」なども学習しますが、大切なことは「公式を丸覚えせず、どうしてその公式で求めることができるのかを自分で説明できるようにしておく」ということです。16回「約数」17回「倍数」を学習することで分数の約分や通分、そして5年生で本格的に学習する「比」の理解が深まります。こちらも機械的に「やり方」を覚えるのではなく「公倍数は最小公倍数の倍数」「公約数は最大公約数の約数」といったことを意識しつつ、解き進めるようにしましょう。倍数の個数や約数の個数の問題も入試頻出ですね。		
課題の把握と解決策	チェック1	等差数列の「□番目の数」を求める際に「数の個数と間の個数」を意識できていますか？	チェック
	解決策	ここがちゃんとわかっていると、公式の説明ができるようになります	□
	チェック2	等差数列の合計「（はじめの数＋最後の数）×個数÷2」の理由を説明できますか？	チェック
	解決策	数列の下に、その数列を逆順に並べた数列を書いてみましょう	□
	チェック3	約数をすべて出すとき、1、2...と間雲に書いていませんか？	チェック
	解決策	ある数を約数で割った答えも約数ですから、36に約数なら「1、36、2、18...」と出せますね	□
	チェック4	「1～100までに3の倍数はいくつあるか」を割り算で出せる理由を説明できますか？	チェック
	解決策	1、2、 <u>3</u> 、4、5、 <u>6</u> 、7... と「3つに1個が3の倍数だから「100÷3=33個」ですね	□
	チェック5	倍数に関する「1行問題」をしっかりと解けていますか？	チェック
解決策	「3で割っても7で割っても2あまる数=3と7の公倍数+2」の仲間にはいろんなパターンがあります	□	
四谷大塚	4年		
	国語		
学習内容	6月の学習内容 14回 説明文・論説文（6）/形式段落と意味段落③ 文を読む④－分けて〈関係〉を考える/対義語 15回 総合（予習シリーズ4年Ⓔ 第11回～第14回） 16回 物語・小説（7）/人の性格 敬語①/外来語 17回 物語・小説（8）/場面展開と心情変化 敬語②/ことわざ②		
家庭学習ポイント	14回の学習テーマは「文を読む④－分けて〈関係〉を考える」です。文章の部分部分を分けて、それらの「パーツ」が文章内でどのような役割をしているかをもとに解く練習ですが、4年生にはちょっと（かなり）難解です。基本問題、発展問題とも、素材文を読んで「何が書かれている文章なのか（話題）」、「筆者の考えは何なのか（結論）」などが読み取れればOKと考えていいでしょう。15回は総合ですが、昨年の改訂で各科目ともかなり進度が早く「キツイ」カリキュラムになっていますので、この総合回での復習機会を大切にしましょう。第16回は物語・小説（7）人の性格の読み取りです。文法は敬語ですが、尊敬語や丁寧語は違和感なく腑に落ちても、謙譲語の感覚が腑に落ちないお子さんが一定数います。お子さんがどのように捉えているか観察し、親御さんからも「たとえばこんなとき」といったように例を示してあげてください。第17回も物語文の読解が続きます。場面の展開で登場人物の心情を表現するのも、物語文では定番ですね。場面の変化があれば心情変化あり、と考えていいでしょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	論説文や説明文の「筆者の結論」が読み取れていますか？	チェック
	解決策	多くは文の最初か最後、あるいは「つまり」「このように」といった言葉に注目しましょう	□
	チェック2	物語文で情景を頭の中に「映像」のように思い浮かべていますか？	チェック
	解決策	映画やアニメ化されている物語を見て想像力を養う、というアプローチもあります	□
	チェック3	予習シリーズ「総合回」のときの勉強スタイルは決まりましたか？	チェック
	解決策	そろそろ総合回のときの学習メニューを決めたいですね	□
	チェック4	お子さんは敬語を正しく使えていますか？	チェック
	解決策	敬語に強いお子さんは、大人と話す機会の多いお子さんが多いです。親のサポートが効果的です	□
	チェック5	物語文で場面の变化から心情の変化を読み取れていますか？	チェック
解決策	物語文では定番の表現だけに「場面変化があればそこに心情変化あり」と考えてみましょう	□	

四谷大塚	4年		
	理科		
学習内容	6月の学習内容 14回 金属 15回 総合（予習シリーズ4年㊤ 第11回～第14回） 16回 夏の生物 17回 星座をつくる星		
家庭学習ポイント	<p>第14回は「金属」です。身近な金属の性質について学習します。金・銀・銅・鉄・アルミニウムのほか、豆電球のフィラメントに使われているタングステンなども金属ですね。電気や熱の伝えやすさなど整理して覚えておくとよいでしょう。電熱線に使われる（つまり電気抵抗が大きい電気を通しにくい）ニクロム（ニッケル＋クロム）、5円玉などに使われる真鍮（銅＋亜鉛）などの合金についても覚えておきましょう。第15回は総合ですが、四谷大塚のカリキュラムは改訂で繰り返しが少なくなっているので、総合回での復習機会を大切にしましょう。第16回は夏の生物に関して学習します。夏の気温や日照、夏に花を咲かせる植物や実がなる植物、夏の昆虫、その他の生物について学習しますが、このように季節を切り口に学ぶ回があるのは4年生の間だけで、5年生からはもっと細分化された学び方になります。一方で入試問題は4年生の学習のような「総合的な問題」が多く、この16回のような学習単元は貴重です。学年が上がってから、あらためて復習する機会があってもいいでしょう。第17回は天体です。身近に観察できる星座については、季節別に数個ずつ（夏と冬の大三角、北天のカシオペア座やおおぐま座、こぐま座などが最低限）覚えておくとよいですね。星座というと「とてもたくさん事を覚えなくてはいけない」と感じて苦手意識を持つお子さんも多いですが、まずは10個程度覚えてしまえば大丈夫です。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	主な金属の性質がだいたい頭に入っていますか？	チェック
	解決策	同じ体積あたりの重さ（金＞銀＞銅＞鉄＞アルミニウム）など	□
	チェック2	身近な硬貨などが何でできているか知っていますか？	チェック
	解決策	10円玉は（ほぼ）銅、1円玉はアルミニウムですね	□
	チェック3	夏に活動が活発になる昆虫が多いのはなぜか説明できますか？	チェック
	解決策	昆虫が「変温動物」ということをキーワードに説明するといいですね	□
	チェック4	星座に興味を持って学習できていますか？	チェック
	解決策	プラネタリウムや星見会などにでかけてみるのもいいですね	□
	チェック5	全天一明るい恒星は何座の何という一等星？	チェック
	解決策	おおいぬ座のシリウスです。正確には-1.5等星ですね。色は白です	□
四谷大塚	4年		
	社会		
学習内容	6月の学習内容 14回 雨の少ない地方の暮らし 15回 総合（予習シリーズ4年㊤ 第11回～第14回） 16回 盆地の暮らし 17回 低い土地の暮らし		
家庭学習ポイント	<p>第14回は瀬戸内の地域の学習です。地形の関係上雨が少ないことは予習シリーズで図解されていますが、そのため香川県の讃岐平野でできたのが、ため池や徳島県の吉野川から水をひく香川用水など、というふうに関係と気候、人々の暮らしを関連付けて記憶しておくことが重要です。第16回は甲府盆地を例に、盆地の暮らしを学びます。山地を流れた川が盆地に注ぎ込むところに扇状地ができ、川の流れで運ばれてきた小石などがつもり、水はけの良い土地ができます。ここで盛んなのが果樹園などですね。（果物の多くは水はけが良くないと「根腐れ」して枯れてしまうからです）扇状地は理科でも学習しますから、理科と社会の両面で記憶できればなおよいでしょう。第17回では「低い土地の暮らし」と第17回、中部地方、濃尾平野の輪中の暮らしについて学びます。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	その土地の気候、自然環境と暮らしを関連付けて記憶できていますか？	チェック
	解決策	地形を理解するためにも、社会の学習には地図帳と白地図を併用しましょう	□
	チェック2	盆地で果物の栽培が盛んな理由を正しく説明できますか？	チェック
	解決策	日本の河川が急（流れが早い）ということも絡めて説明しましょう	□
	チェック3	扇状地では「水無川」が多い理由を正しく説明できますか？	チェック
	解決策	扇状地で堆積しているものは目が粗く水はけがよい、ことから説明してみましよう	□
	チェック4	「輪中」とはどんなものか正しく説明できますか？	チェック
	解決策	低い土地だからこそ、水害に備えて土地を堤防で囲ったんですね	□
	チェック5	理科と社会の知識を連携させて勉強できていますか？	チェック
	解決策	特に気候や地形の話題は理科的な考え方と社会の知識の組み合わせが有効です	□